

うるま市のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された平成26年度のごみ量は、前年度と比較して微増しています。ここ数年概ね横ばいの状況にありますが、市民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額であります。より一層うるま市が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。

○ごみ減量に向けた4R運動の取り組みにご協力をお願いします。

- リデュースのR・・・ごみを減らそう
- リユースのR・・・繰り返し使おう
- リサイクルのR・・・資源として活かそう
- リフューズのR・・・ごみになるものを断ろう



リサイクリンちゃん

1. 平成26年度ごみ処理経費

経費区分	金額	市民1人当たり 年間負担金額	1世帯当たり 年間負担額	
ごみ収集運搬等諸経費	2億1,632万円	1,780円	4,465円	
負担金	ごみ処理経費	11億4,658万円	9,433円	23,665円
	最終処分費	2,343万円	193円	484円
ごみ処理総事業費	13億8,633万円 (14億424万円)	11,406円 (11,604円)	28,614円 (29,492円)	

* () 内の数値は平成25年度実績です。

2. ごみ搬入量

ごみの種類	平成25年度	平成26年度	前年度比較	市民1人当たり 1日の排出量	1世帯当たり 1日の排出量	
可燃ごみ	30,068ト	31,024ト	956ト	699.3 $\frac{g}{人}$	1,754.4 $\frac{g}{世帯}$	
不燃ごみ	516ト	541ト	25ト	12.2 $\frac{g}{人}$	30.6 $\frac{g}{世帯}$	
粗大ごみ	404ト	433ト	29ト	9.7 $\frac{g}{人}$	24.5 $\frac{g}{世帯}$	
資源ごみ	缶類	271ト	247ト	-24ト	5.6 $\frac{g}{人}$	14.0 $\frac{g}{世帯}$
	びん類	930ト	918ト	-12ト	20.7 $\frac{g}{人}$	51.9 $\frac{g}{世帯}$
	ペットボトル	303ト	301ト	-2ト	6.8 $\frac{g}{人}$	17.0 $\frac{g}{世帯}$
	古紙類	378ト	361ト	-17ト	8.1 $\frac{g}{人}$	20.4 $\frac{g}{世帯}$
合計	32,870ト	33,825ト	955ト	762.4$\frac{g}{人}$	1,912.8$\frac{g}{世帯}$	

3. 資源化量

種類	平成25年度	平成26年度	前年度比較
缶類	233ト	210ト	-23ト
金属類	225ト	237ト	12ト
びん類	894ト	880ト	-14ト
ペットボトル	262ト	266ト	4ト
古紙類	308ト	298ト	-10ト
古布類	13ト	7ト	-6ト
蛍光管	23ト	21ト	-2ト
乾電池	23ト	25ト	2ト
スラグ	2,163ト	2,129ト	-34ト
メタル	15ト	16ト	1ト
合計	4,159ト	4,089ト	-70ト

*平成27年1月末の人口121,548人、世帯数48,449世帯、平成26年1月末の人口121,009人、世帯数47,615世帯です。

*端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。

*資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破碎・分別して出てきたものです。

*資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

*負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費をうるま市から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

4. 最終処分量

種類	平成25年度	平成26年度	前年度比較
飛灰	990ト	1,065ト	75ト

リサイクル工房の利用について募集

組合のリサイクル工房内にあるパッチワーク工房を利用してみませんか。下記の条件等で募集します。

- うるま市及び恩納村の住民で構成する団体(任意で可)に限ります。
- 販売・営利を目的とした利用は出来ません。
- そのほか利用方法については、組合の指示に従うこと。

【活用例】資源ごみで回収された衣類を活用し、パッチワーク、マイバックや布草履作り、衣服のリフォーム等々

*詳細については、お問い合わせください。

お問い合わせ 中部北環境施設組合 ☎ 972-6619